

## 第63回東北海区海洋調査技術連絡会開会の挨拶

### 大久保 安広・第二管区海上保安本部長

ただいま紹介頂きました大久保でございます。

第63回と長い歴史をもつ、本連絡会の開催にあたりひとことご挨拶を申し上げます。

今回は当管区本部が幹事ということで、遠路塩釜までお集まりいただきありがとうございます。また、皆様方には平素から海上保安業務に深いご理解ご協力を賜り、この場で御礼申し上げます。

この会は聞くところによると、63回、昭和26年から開始されているということでまさに長い、皆様方あるいは諸先輩方の長い長い積み重ねの研究成果が非常に大きな成果をあげているものと認識しております。私どもの海上保安業務にあっても、漂流船舶の捜索でありますとか、管内環境の把握、こういったものについては漂流予測、それら非常に大事な要素でございますけれども、これらもひとえにここにお集まりの皆様方の熱心な調査研究の積み重ねであると、いうふうに認識しております。改めて感謝申し上げる次第でございます。

更には東日本大震災以降、私どもの共通の現場、対象である海、これらについて震災以前、さらに復興させようと東北地方の一員としてご尽力されていることに心から敬意を表すところでございます。

今回の連絡会では、観測技術や東北海区の海況、余効変動などの新しい話題、世間が注目している放射線の状況などが発表させると聞いております。いずれにいたしましても、私どもの仕事は海に関するものであり、それぞれの機関でその目的・取り組みが異なるところがございますが、美しい日本の海を愛し、守り、豊かな海を育み、安全・安心な海上活動を支えていくという命題には共通のものがあるというふうに思っております。本連絡会を通して各機関が今後も横の連携を一層近密にし、それぞれの業務に反映され東北地方あるいは日本の国民、社会にとってさらなる成果があげれることを期待しております。

本日、明日と二日間の連絡会議の開催におきましては、皆様庁舎に入られるときにお目にされてるとおり、庁舎の耐震工事も行われており皆様方には不自由をおかけすることもあるかとございますが何卒ご容赦いただき、活発な討論や発表を通じて本連絡会が実りあるものになることを期待いたして、期待しますとともに本連絡会の歴史が益々光り輝きますことを祈念して私の開会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。